

## 令和6年度 佐賀県の取組の経過と今後の予定

佐賀県特別支援教育研究会

会長 小野 龍智

### 1 研修・研究活動の計画

期日	活動名
令和6年4月30日(火)	第1回理事・第1回幹事研修会
令和6年5月30日(木)	総会及び研修会
令和6年7月 2日(火)	第3回幹事研修会
令和6年8月 2日(金)	令和6年度九特連九情研佐賀大会
令和6年10月17日(木)	第4回幹事研修会
令和7年1月10日(金)	第2回理事・第5回幹事研修会
令和7年1月10日(金)	新年情報交換会

※九特連佐賀大会実行委員会を、4、5、6、7、10、1月に実施。

### 2 活動の概要

#### (1) 研修会名(佐賀県特別支援教育研究会 第1回理事・第1回幹事研修会)

講師		参加人数	38名
実施形式	1 集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題			
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会資料の確認(前年度業務報告・収支決算、本年度業務計画・予算、業務分担等)</li> <li>・令和6年度九情研九特連佐賀大会について</li> <li>・事業・提案輪番について</li> </ul>		

#### (2) 研修会名(佐賀県特別支援教育研究会 総会及び研修会)

講師		参加人数	151名
実施形式	1 集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題			
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度業務報告・会計監査報告・本年度業務計画・予算、業務分担等</li> <li>・負担金の納入について</li> <li>・令和6年度九情研九特連佐賀大会について</li> <li>・令和6年度九情研九特連佐賀大会プレ発表</li> </ul>		

(3) 研修会名 (佐賀県特別支援教育研究会 第3回幹事研修会)

講師		参加人数	18名
実施形式	1 集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題			
概要	・事業報告(総会及び研修会) ・事業計画(第65回障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会等) ・機関誌「ともしび その66」について		

(4) 研修会名 (九州地区特別支援教育研究連盟研究大会 佐賀大会) ※九情研佐賀大会と合同開催

講師	帝京平成大学 人文社会学部 教授 田中 良広 氏	参加人数	654名
実施形式	1 集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	これからの特別支援教育を担う教職員に求められる資質や専門性とは何か		
概要	・開会行事 ・記念講演 ・分科会(第1~5分科会:九特連大会、第6~8分科会:九情研大会)		

(5) 研修会名 (佐賀県特別支援教育研究会 第4回幹事研修会)

講師		参加人数	17名
実施形式	1 集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題			
概要	・本年度の前期業務報告 ・機関誌「ともしび66」原稿依頼について ・新年情報交換会について		

### 3 今年度の成果と課題

(1) 今年度の成果

○令和6年度九特連佐賀大会は、九情研大会との合同開催とし、ハイブリッド型(参集とオンライン)の研修会で行った。会場をコンパクトに業務軽減を図りながら、参加しやすいスタイル(ハイブリッド型、参加費補助等)で大会を運営した。遠方からはオンラインで参加ができ、参集での参加の方々は、会場での記念講演や各分科会で対面での意見交換、先生方との交流など、充実した研修会となった。今後は、大会運営の引継ぎをしながら、よりよい研究大会になるよう情報提供を行う。

(2) 今後の課題

●本研究会の業務実施については、会議や研修会等の業務の効率化を継続し、運営経費については、事業の見直しを行いながらコストカットに努め、九特連大会等の旅費の確保や事業の充実が図れるよう事務運営を進めていく。